

穴吹不動産流通(株)鹿児島店 市況レポート(2020年9月)**「コロナ禍における景気動向」****【新型コロナウイルスの景気への影響】**

2020年8月末に日本商工会議所から早期景気観測(2020年8月調査分)が発表されました。観測結果の中で新型コロナウイルスによる経営への影響について述べられており、全国の法人の中で「新型コロナウイルスの影響が続いている」もしくは「経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある」と回答した企業は全体の93.0%に及んでいます。

また、2020年8月に鹿児島商工会議所から2020年4月～6月期の景況調査の結果が発表されており、今期(2020年4月～6月期)は前期に比べ、業界全体で大きく業績が悪化し、平成27年4月期以降最も厳しい景気の動向となっている状況です。特に小売業やサービス業は新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止や営業・販促活動に制限がかかっており、来期の見通しについても厳しい状況となっています。

【今後の不動産市況】

緊急事態宣言が解除されてから約3ヶ月経ちましたが、依然として日本全体で新型コロナウイルスの影響が色濃く出ている状況です。現在も新型コロナウイルスの収束について先行き不透明な状況が続いており、景気動向について更なる悪化も予想されています。今後の不動産市況としては、法人の経営状況の悪化や収入減による家計の圧迫にて不動産を売却される方の増加が予測されます。

【最後に】

鹿児島県内でも猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、いまだ収束の目途は見え、更なる景気の悪化も予測されます。不動産の査定をする際には、そのときの景気動向が重要なポイントの一つになります。

ご自分の資産が今どれだけの価値があるのか、より高くより早く不動産を売却するためには何をすればよいのか、あなぶき不動産流通はお客様により最適なアドバイスをさせていただきます。無料査定も実施しておりますので、お気軽にご相談ください。